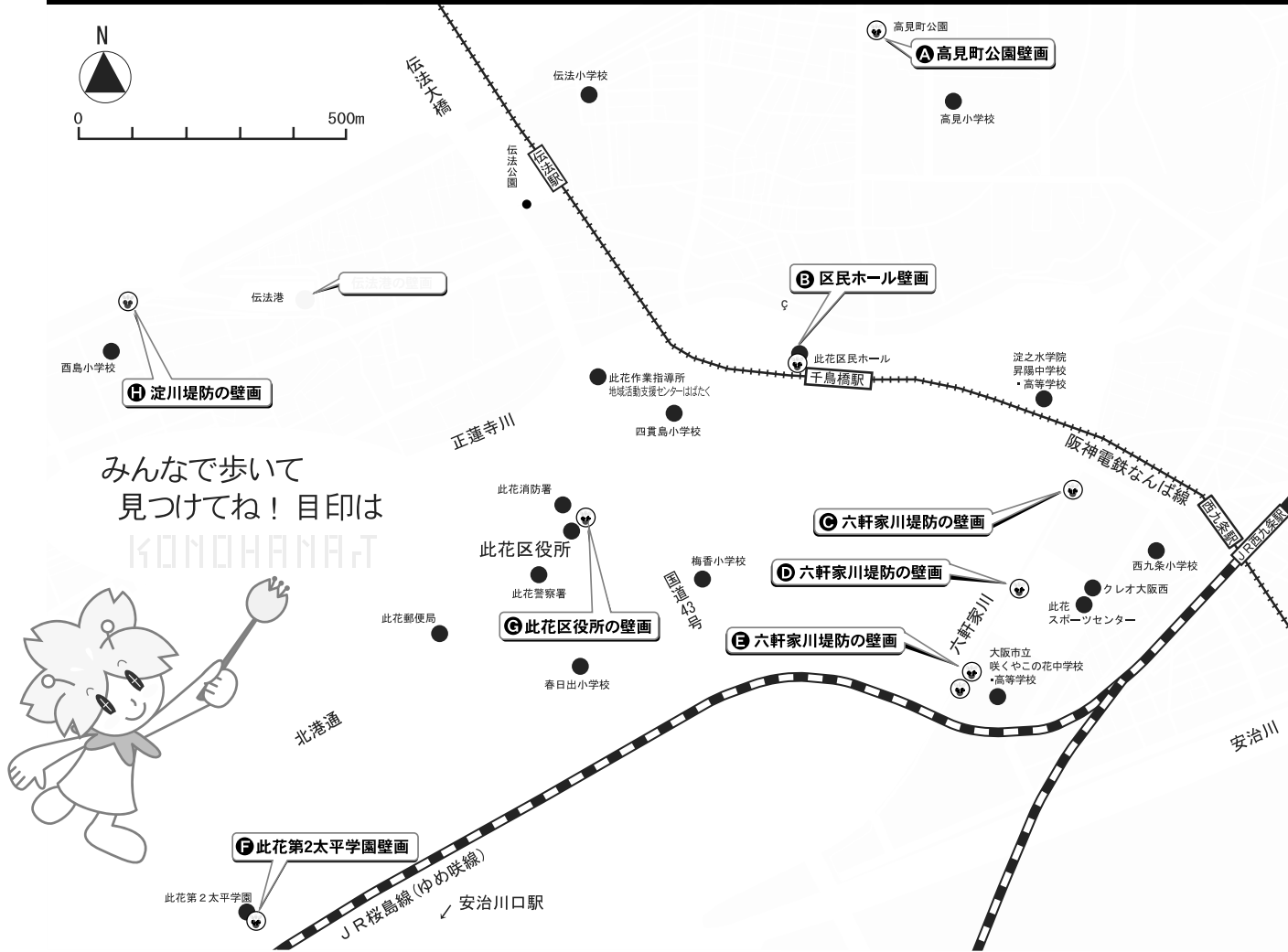


このはなアートプロジェクトで完成した壁画



まちをアートで彩り、まちと人、人と自然をつなぐ……
このはなアートプロジェクト。

幅広い層の区民の参加、区民スタッフやアーティスト、
専門家、区役所の協働により2007年度より取り組
んでいます。

2007年度には、区民ホール壁画と六軒家川堤防(朝
日橋公園前)に2つの壁画が完成。

2008年度には、高見町公園、六軒家川堤防(大阪
市立咲くやこの花中学校前)、淀川堤防(西島)、此
花第2太平学園の壁画、区役所壁画に新たなアート
作品が完成しました。

2009年度は、これまで制作した壁画のうち、六軒家
川堤防と淀川堤防の壁画について、学校や子ども
たちとの協働によってアートを延長させました。

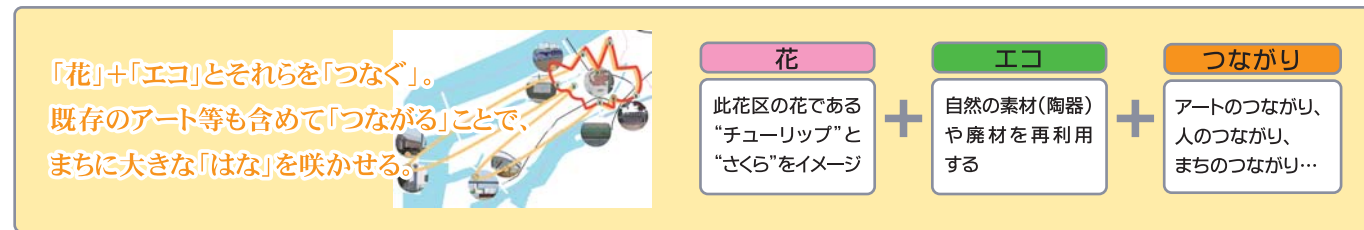
このはなアートプロジェクトは、これからも壁画制
作やアート活動の過程で培われた、区民のアート
への理解と参加、人々の交流、此花区のPRなどを
大切にします。

H 淀川堤防(西島)壁画
 G 区役所壁画
 B 区民ホール壁画
 A 高見町公園壁画

F 此花第2太平学園壁画
 E 六軒家川堤防(大阪市立咲くやこの花中学校前)壁画
 D 六軒家川堤防(朝日橋公園前)壁画
 C 六軒家川堤防(朝日橋東詰)壁画

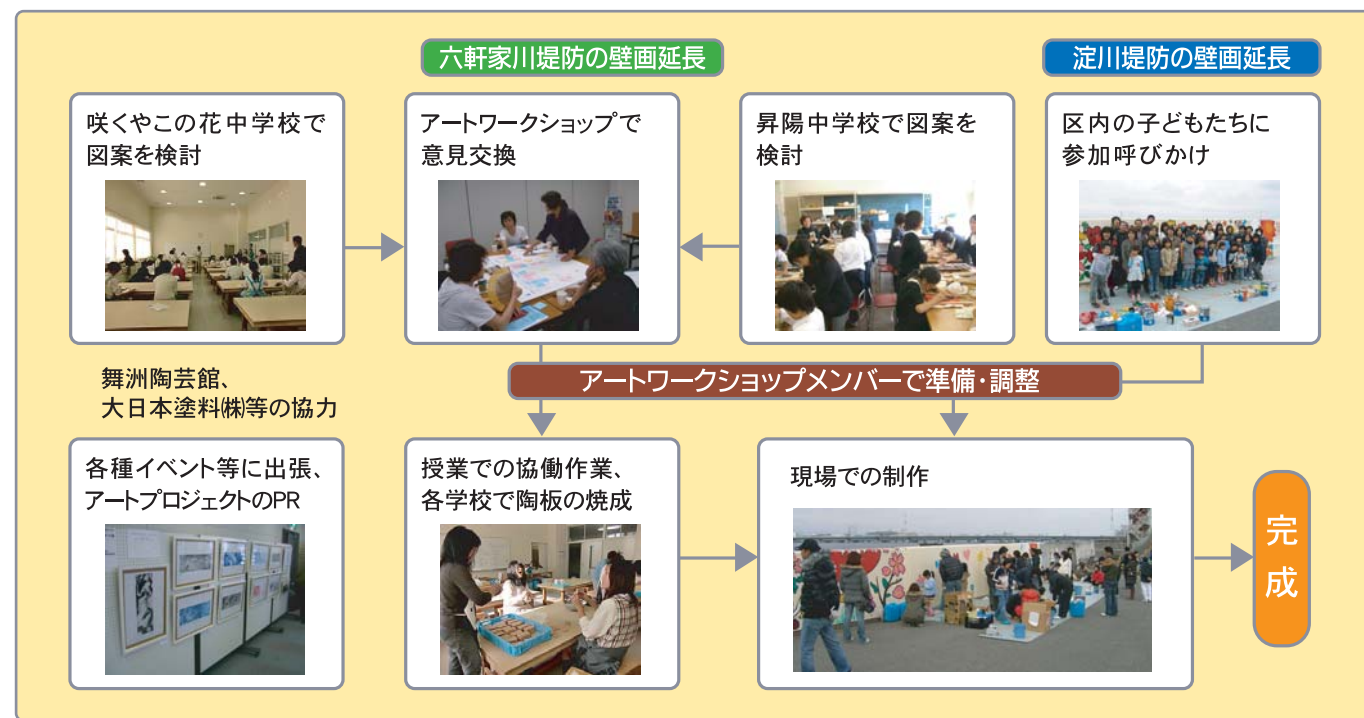
コンセプト

このはなアートプロジェクトのアート制作は、以下のコンセプト(基本的な考え方)をもとに、制作の手法や壁画の内容を具体的にしていきます。



制作のながれ

本年度は学校や子どもたちとの協働作業に重点をおき、昨年度制作した堤防の壁画を3カ所で延長しました。3カ所の制作現場ごとに、以下の手順で壁画の制作を行いました。



淀之水学院昇陽中学校との協働

アートワークショップメンバーが学校に出向き、中学校の1期生と協働制作を行いました。校庭にある桜の葉をモチーフにした陶板をつくり、学校の窯で焼き上げ、それらを六軒家川の堤防に生徒1人ひとりの人型になるように貼り付けていきました。ペイントで使用したペンキは堤防に隣接する大日本塗料(株)の協力をいただきました。



大阪市立咲くやこの花中学校との協働

2008年度に引き続きアートワークショップメンバーが学校に出向き、中学校の美術・デザイン分野の2期生と協働制作を行いました。アートプロジェクトのコンセプトを受けて、生徒から公募した図案をもとに陶板をつくり、学校の窯で焼き上げました。それらを六軒家川堤防の2008年度の1期生の作品の北隣に貼り付けていきました。



淀川堤防の壁画制作

2008年度の壁画の制作によって、地域や通行者からも延長してほしいとの声があり、本年度も区内の子どもたちに呼びかけ、壁画を延長する制作を行いました。壁画の清掃にあたっては、此花作業指導所のみなさんに協力をいただきました。現場の制作では大阪市漁業協同組合此花支部に、使用したペンキでは大日本塗料(株)の協力をいただきました。



さまざまな組織との連携

学校や企業以外でも、六軒家川堤防の清掃にあたっては、本年度もNPO法人クリーンタウンKOBEに協力いただき、各壁画の銘板の制作にあたっては、舞洲陶芸館の協力をいただきました。



このはなアートワークショップ

このはなアートワークショップ

アーティストや専門家だけでアートの整備を進めるのではなく、企画段階から区民や学生が参加する場として、「このはなアートワークショップ」を開催しました。2008年度のメンバーを拡充し、プロジェクトの中心メンバーとして活動しました。具体的には、アーティストや専門家のアドバイスを受けながら、制作手法に関する意見交換や制作の役割分担、区民参加の手法やイベントの企画・運営を行いました。



このはなアートフェスタ

完成した壁画をみんなで見て歩く「アートdeウォーク」や壁画のお披露目を行うとともに、アートに親しむイベント「このはなアートフェスタ'10」を開催しました。アートの展示やアート体験などを楽しむことができるこのイベントも、今回で3年目を迎え、例年通り、アートワークショップメンバーを中心に実行委員会形式により、役割分担を図りました。

